

請願第13号

「町田市庁舎跡地利用計画（案）」の再検討及び周辺の都市整備計画策定を求める請願

請願要旨

■はじめに

昨年11月に町田市庁舎跡地等検討委員会の検討結果が市長に報告されました。それを受け計画された「町田市庁舎跡地利用計画（案）」に関して議会の調査特別委員会からは、再検討を求める意見が出されています。しかし、現在にあっても再検討されないまま基本構想が策定されようとしております。

中町で長年商店を支え、市の施策にも様々協力させていただいてきた地元商店会としても、市の作成した「町田市庁舎跡地利用計画（案）」の本庁舎跡地の部分については賛成できません。地域経済の活性化と、町田駅徒歩圏にある市有地の有効利用の観点から見ると、議論を尽くされているとは言い難い今回の計画を根本的に見直すよう、請願をいたします。

■地域の観点から

もともと中町商店会は基盤が脆弱な商店街であり、集客の多くを旧庁舎に依存しておりました。本年7月に庁舎が移転した後、大幅な集客の減少が既に始まっております。このまま、「町田市庁舎跡地利用計画（案）」で示されたままイベント施設と広場ということで5～10年放置されると、飲食店や事務所を中心に立ちいかなくなり、俗に言う「シャッター通り」になることは明白です。

また、イベントの形でスポット的に集客しても、本当に商店会としての集客力の柱になるのか甚だ疑問です。

■まちづくりの観点から

町田駅徒歩圏内にある、市有地の有効利用を考えると、屋根付きイベント施設と広場という選択が好ましいものではないこともまた明白です。本年6月議会の市長答弁によれば、何かしらの「箱もののイベント会場施設の整備」と抽象的に示されていますが、当該跡地はイベント広場に不向きであります。隣接地は小中学校、救急病院があり、消防施設、閑静な住宅街、常時渋滞している幹線道路、オフィス街と、地域としては大規模イベントを開催することで活性化すべき地域とは趣が異なっております。周辺地域に対する合意形成に関しても全く道筋が示されておりません。

また、旧庁舎跡地から町田駅に向かう道路は、バス路線にも関わらず踏切近くは幅員6メートルに満たない狭隘道路であり、通勤時間帯には小田急線の第2踏切がほとんどの時間開かなくなり、路上で待っている大勢の車や歩行者を、バスがかき分けながら進んでいく状況です。何らかの事情で小田急線のダイヤが数分ずれただけで、踏切が開かなくなり、町田街道まで続く大渋滞になってしまいます。未だに大事故に至っていないのが不思議なくらいの中で、一点集約型の集客施設を市有地内だけで完結させることができなのかどう

か疑問です。

■まとめ

市議会の特別委員会の意見のとおり、市庁舎跡地利用の再考をお願いいたします。また、中町商店会の振興や近隣の住宅の環境確保を含め、安全で安心して、暮らしと集客のバランスのとれた都市計画の推進を、周辺道路の拡幅も含め図ってください。

請願項目

- 1、「町田市庁舎跡地利用計画（案）」のうち「本庁舎跡地への導入施設（屋根付きイベント空間）」の再検討を求める。
- 2、バス路線の拡幅整備を含めた周辺都市整備計画の策定を求める。
- 3、庁舎なき跡の、~~中町~~商店会の振興策を検討してください。

地元